

授業科目		科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
医療統計学基礎		2単位 30時間(16 コマ) 講義科目	博士前期 1 年次 前期開講	☐ 可・不可
科目責任者	松村 健太			
担 当 者	松村 健太、對馬 栄輝（非常勤・弘前大学）			
1. 科目のねらい・目標				
ねらい：医療系の調査・実験研究において、得られたデータを適切に分析する訓練をします。 目 標：データを読み解き、計算して値を確かめることによって、自分の言葉でデータの意義を説明できるように進めます。 1～8回は学部レベルの統計学と主な統計調査に、9～16回は高度な統計学に取り組みます。				
2. 授業計画・内容				
1～8回【松村健太】 統計学の基礎：データを要約する：(1)データの整理、データの中心・ばらつき、(2)標本調査、他、データから推測する：(3)確率の基礎、正規分布、標本平均、区間推定、他、2変数データを分析する：(4)相関係数、回帰分析、(5)独立性の検定、(6)スクリーニング、他)、データを活用する：(7)人口統計、年齢調整死亡率、(8)基幹統計、他。 9～16回【對馬栄輝】 統計学の応用：1元配置分散分析、反復測定による分散分析、分割プロットデザインによる分散分析、重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析、等。				
3. 教科書、参考書				
教科書 豊田修一，星山佳治，宮崎有紀子．看護師・保健師をめざす人のやさしい統計処理．実教出版，2022 （第3刷、ISBN 978-4-407-34953-5） ●R コマンダーを使用する場合の参考書（9回以降） 對馬栄輝．R コマンダーで簡単！ 医療系データ解析，東京図書，2021 ●SPSS を使用する場合の参考書（9回以降） 對馬栄輝，石田水里．医療系データのとり方・まとめ方 第2版 実験計画法と分散分析．東京図書，2021				
4. 成績評価方法				
授業での演習・課題提出（90%）、授業の参加度（10%）。				
5. 受講要件				
PC 使用できる環境。授業や課題作成に用いるため。 9－16回は、統計ソフトを使用した演習も行うので、使い慣れた統計ソフト（Excel は不可）または、改変R コマンダー（ https://home.hirosaki-u.ac.jp/pteiki/r/ ）を使用できるようにしておいてください。 ただし、統計ソフトの使用は必須ではありません。				
6. 社会人学生に対する配慮				
双方向型の完全オンライン授業（zoom）、あるいは対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型での授業を行います。				
7. その他				
一部オンデマンドや Webex のスペースを活用することを予定しており、オンデマンドの際は講義動画を視聴の上、個別の課題提出などにより出席とみなします。				